



石畳清流園 大学生音楽会企画

奏者は水車
自然の音色

内子町石畳の石畳清流園で20日、水車の力で鉄琴や太鼓などを鳴らす「音楽水車」のコンサートがあり、川のせせらぎや鳥のさえずりとともに自然豊かな音色を観客が楽しんだ。

まるごと
トピック
内子

歌謡曲やジャズ披露

コンサートは愛媛、松山両大学の学生有志グループ「SENSE (センス)」が企画した。メンバーで内子町出身の松山大2年山本菜摘さん(20)がインターネットで音楽水車の映像を見て、祖母が喜ぶのシンボルとして、石畳地区でやれば「面白い」と発案。関東地方や岩手県で演奏活動をしている「音楽水車プロジェクト」(岡淳代表)に依頼して実現した。

音楽水車は水車の回る力をゴムベルトで伝え、複雑に組み合わせる。20日はジャズミュージシャンでもある岡さんのサククス演奏なども加わり、歌謡曲やジャズの名曲を披露。あいにくの悪天候だったが、雨音さえもメロディーに溶け込んでいた。

石畳清流園の水車は地元の有志でつくる「石畳を思う会」が集落のシンボルとして、昔ながらの姿を復元。同会の西本和明会長(62)は「私たちでは考えつかないイベント。みんなの力で自然豊かな状態を残していきたい」と学生の企画を喜んでいた。

(加藤大啓)